

JAXA男女共同参画推進室

JAXAは、2013年10月に男女共同参画推進室を設置しました。研究開発職も事務職も、男女ともに尊重し合い、能力を十分に発揮できる環境を構築し、宇宙航空分野の活力を一層高めます。

筑波宇宙センターにおいても、ほしのご保育園の運営、ワーク・ライフ・バランス(仕事と家庭の両立)の確保、研究開発・マネジメント力の向上を進めています。

JAXAは男女ともに、子育て期・介護期にパフォーマンスを落とさず、高い研究開発力を維持できる組織を目指しています。また、未来の研究者育成のために時代に即したロールモデルの見える化や国際的なネットワークづくりにも取り組んでいます。



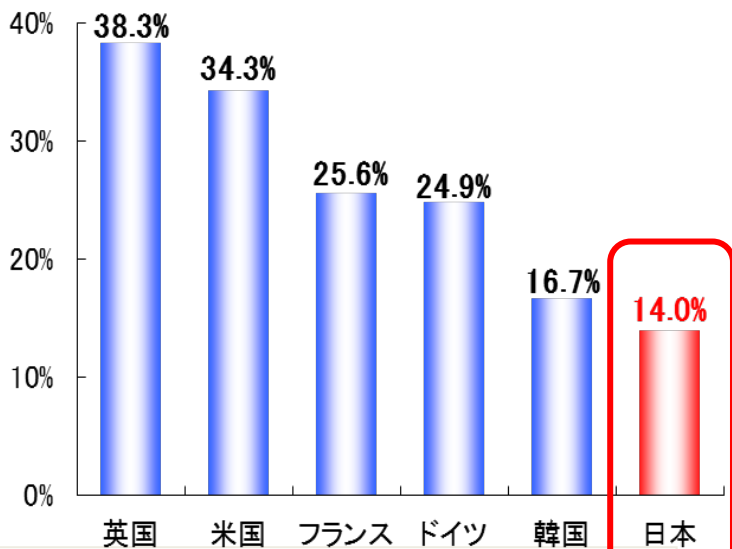
JAXAほしのご保育園
(平成24年4月開園)



女性研究者数及び比率と国際比較

我が国は、第3期科学技術基本計画より女性研究者の採用に関する数値目標を掲げ、その登用及び活躍促進を進めており、女性研究者は年々増加傾向にある。しかし、その割合は、諸外国と比較してなお低い水準にある。

各国における女性研究者の割合



〈備考〉

「総務省 科学技術研究調査報告」(日本:平成24年時点)

「OECD "Main Science and Technology Indicators"」

(英国:平成22年時点、フランス:平成22年時点、ドイツ:平成21年時点、

韓国:平成22年時点)

「NSF Science and Engineering Indicators 2006」(米国:平成15年時点)

(出典)文部科学省資料より

「第4期科学技術基本計画」(抜粋)

(平成23年8月19日閣議決定)

IV. 基礎研究及び人材育成の強化

3. 科学技術を担う人材の育成

(2) 独創的で優れた研究者の養成

③ 女性研究者の活躍の促進

〈推進方策〉

・ 国は、現在の博士課程(後期)の女性比率も考慮した上で、自然科学系全体で25%という第3期基本計画における女性研究者の採用割合に関する数値目標を早期に達成するとともに、さらに30%まで高めることを目指し、関連する取組を促進する。特に、理学系20%、工学系15%、農学系30%の早期達成及び医学系での30%達成を目指す。

・ 国は、大学及び公的研究機関に対し、女性研究者が出産、育児と研究を両立できるよう、柔軟な雇用形態や人事及び評価制度の確立、在宅勤務や短時間勤務、研究サポート体制の整備等を進めることを求める。国は、これらの取組を支援する。

男女共同参画推進室の取り組みの紹介

～女性研究者研究活動支援事業【一般型】～



過去に実績のある取組を効果的に実施

平成25年3月時点の女性研究者の在職比率:8.7%、採用比率:13.5%

■ 具体的な取組

- A. 安心して出産・子育て・介護を行える環境
- B. 働き方の見直し、ワーク・ライフ・バランス
- C. 研究開発力・組織マネジメント力の向上
- D. 採用・登用を拡大、意識啓発
- E. ロールモデルの見える化
女子学生・院生との交流機会拡大
- F. 内外連携や相互協力ネットワークの形成

■ 実施期間終了後の取組

- ・ **トップ主導**による取組の継続と改善。
- ・ **自己資金**の着実な確保と実施。

数値目標	達成のための方策
採用・登用の目標	
在職比率を 12%以上	採用率・離職率の改善
採用者比率を 18%以上	「同等の能力では、女性優先」の方針。支援環境・制度の広報。公募方法の工夫
教授相当者の採用（現状ゼロ）	募集/審査方法の工夫
子育て・介護による 離職率をゼロ	支援体制・情報の整備
研究開発力の向上	
競争的研究資金獲得額を 2倍以上	研修体系の強化、メンター制度、セミナー等
論文投稿等の件数を 1.5倍以上	

その他、意識啓発、女性職員の人事制度理解の向上、人事プロセスへの参画促進など

機関全体の事業実施体制

事業所毎の特色と女性研究者のニーズと対応した支援/女性研究者の採用・上位階層での登用増加の取組/大学院博士課程に進む学生の増加の取組などを推進

